

2025年3月13日  
 株式会社かんでんエンジニアリング  
 朝日航洋株式会社  
 川崎重工業株式会社

## 無人ヘリコプター「K-RACER」を活用した 「送電鉄塔向け物資輸送における協業検討に関する合意書」を締結

川崎重工業株式会社（以下、川崎重工）と株式会社かんでんエンジニアリング（以下、かんでんエンジニアリング）と朝日航洋株式会社（以下、朝日航洋）は、「送電鉄塔向け物資輸送における協業検討に関する合意書」（以下、本合意書）を締結しました。本合意書により、川崎重工が開発する無人ヘリコプター「K-RACER」を活用した送電鉄塔向け物資輸送サービス（以下、本サービス）の事業化を目指した検討を協力して行っていきます。まずは、物資輸送サービスの実証実験を実施し、事業化における技術課題等の検討を行う予定です。



物資輸送の様子（有人ヘリコプター）※



「K-RACER」による物資輸送（イメージ）

※写真提供：朝日航洋株式会社

発電所で生み出された電力は、送電網を通じて各地の変電所に届けられ、その後、家庭や企業に配電されます。国内に張り巡らされる送電網を構成する送電鉄塔は、現在、約 24 万基が設置されています。

安定した送電を行うためには、定期的な送電鉄塔の建替、設備更新、保守等の作業が不可欠であり、山間地にある送電鉄塔の場合、これらの作業に伴う資機材の輸送は、有人ヘリコプター、モノレール、索道、人肩運搬等で担われています。加速する少子高齢化に伴う労働人口の減少により、今後、新たな輸送手段の拡充が必要とされています。

この課題の解決に向け、1 回あたり最大 200kg の物資を運搬することが可能な「K-RACER」を活用した本サービスの事業化を目指した検討を 3 社で協力して行っていきます。

なお、川崎重工は、本サービスの対象となる送電鉄塔向け市場だけで数十機、市場全体では数百機の機体需要を見込んでいます。

### <各社の事業概要>

- ・かんでんエンジニアリング：架空送電線、地中送電線の建設、保守、点検工事 等
- ・朝日航洋：ヘリコプターによる送電線建設工事等における物資輸送 等
- ・川崎重工：「K-RACER」の機体開発・製造・事業開発 等

< 「K-RACER」基本仕様 (K-RACER X2) >



- メイン・ローター直径：7m
- 最大搭載量：200 kg
- 駆動方式：レシプロ・エンジン
- 燃料：ハイオクガソリン
- 航続距離：100km 以上
- 連続運用可能時間：1 時間以上

<参考リンク>

○川崎重工「グループビジョン 2030 無人ヘリコプターK-RACER」

<https://www.khi.co.jp/groupvision2030/k-racer.html>

○川崎重工「無人ヘリコプターK-RACER による災害時を想定した無人物資輸送の実証に成功」

<https://www.youtube.com/watch?v=m40ociWXPbc>

○川崎重工「近未来モビリティ/VTOL 無人機 K-RACER 運用動画 (山岳物資輸送・防災/災害対応)」

<https://www.youtube.com/watch?v=Da19osDXQWM&t=98s>

<関連プレスリリース (川崎重工) >

○無人ヘリコプター「K-RACER」南海トラフ巨大地震を想定した訓練「南海レスキュー2024」に参加 (2025年1月14日)

[https://www.khi.co.jp/pressrelease/news\\_250114-1.pdf](https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_250114-1.pdf)

○無人ヘリコプターの実証機「K-RACER-X2」国内最大となる200kgの貨物搭載能力を実証 (2024年1月12日)

[https://www.khi.co.jp/news/detail/20241112\\_1.html](https://www.khi.co.jp/news/detail/20241112_1.html)

○長野県伊那市の「無人 VTOL 機による物資輸送プラットフォーム構築事業」に最新実証機「K-RACER-X2」を投入 (2023年11月14日)

[https://www.khi.co.jp/pressrelease/news\\_231114-2.pdf](https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_231114-2.pdf)

以上